



民主こうべ政策議員団ニュース 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

「世界に誇れる夢のある街」神戸創りを加速させて

久元新市長が誕生し「輝ける未来創造都市の実現」に向けた取り組みが進められており、議会でも「未来都市創造に関する特別委員会」を設置するなど「世界に誇れる夢のある街」神戸創りへの議論を加速させています。

代表質疑

人見誠議員(北区)

神戸経済と今後の神戸港のあり方について

Q どのように官民連携して神戸経済をブランドデザインし、神戸港に付加機能を加え、神戸港を荷主や船主が利用したい、しやすい港にしていこうか?

A 荷主、港運業界、港湾管理者を一堂に集めるワーキンググループを立ち上げて具体的な政策検討を始め、本格的な港湾コストの削減や港湾サービスの向上に向けた取組みを進める。

3年後の神戸港開港150年の節目には、その成果が目に見える形で表れるよう、取組みを進めていきたい。

Q アジア戦略は?

A アジア各国との新たな航路の開拓の模索といったことは、大変重要。民間の動きとも呼応しながら、アジア各国との経済交流、特に港を活用した経済交流、航路の創設も含めた取組みをしっかりと行っていきたい。

Q 観光も大きな戦略で、クルーズの需要の喚起も必要だと思うが、どのように取組んでいこうか?

A 急速に成長している中国のクルーズ需要を取り込むことが、大変重要。同時に、できるだけ神戸の街を楽しんでもらい、お金を落としてもらうことも重要。魅力的なWiFi環境づくりに取り組んだりしているが、関係業界と一体となった必要な対応をしっかりと行っていきたい。

空き家対策

Q 空き家バンクや助成制度の創設など市が一定関与し、良好な中古物件の流通を促進すべきと考えるがどうか?

A 不動産関係団体や学識経験者等との官民協働による「空き家ストックを活用した中古住宅市場活性化プロジェクトチーム」を立ち上げ検討を進めている。先行事例も検討材料としながら、神戸市独自のシステム「すまいるネット」を活かした効果的な仕組みの構築をしたい。



大井としひろ議員(須磨区)

市役所改革(久元イズムの浸透度)について

Q 市長は就任会見で職員と一体となって市役所の仕事のあり方を改革したいと述べ、職員に対してはオール神戸市で市役所改革に取り組みたいとの思いを発信された。市長就任後約10ヶ月が経過したが、このような市長の思いが職員にどの程度浸透していると考えているか?

A 自信を持ってお答えするところまでいっていないが、「市役所改革」について職員アンケートを実施し、1,700名から約4千件の回答があり、そのうち3分の2が記名で具体的な提案が書かれていた。

現在、市役所改革作業チームを編成し、仕訳の作業を行っている。

すでに予算編成方法について、シーリングを原則撤廃して新しいアイデアで予算を要求し、財政当局はプロの目で査定するというようなやり方に変更し、職員採用試験も、職員アンケートで提案された意見を踏まえた見直しを行った。今後も、市役所改革の成果が出るように職員としっかり相談しながら、全力で進めていきたい。



ガラス瓶のリサイクルについて

Q 神戸市では、びんと缶などを混合して回収していることから、びんが割れやすく、人口一人当たりのリサイクル量は、年間0.14キロと全国平均を大きく下回る現状であり、リサイクル率向上に向けて取り組むべきだがどうか?

A 現在の3種混合収集方式は、市民に広く定着している。びんの資源化率向上には、大幅な設備更新が必要であるなどさまざまな課題がある。施設の大幅な改善や分散処理の検討から着手し、中長期的な計画をコスト面も含めて検討していきたい。